

京北地域小中一貫教育校検討協議会 第2回施設整備検討部会摘録

- 日 時 平成28年10月12日(水) 20:00～21:00
- 場 所 京北合同庁舎 大会議室
- 出席者 施設整備検討部会メンバー35名(5名欠席), 事務局及び関係職員19名
委託先設計会社8名
- 説明資料 **資料1** 第2回ワークショップ説明資料
- 議事要旨

1 前回ワークショップのまとめ

前回のワークショップのまとめについて、**資料1(1～4頁)**に基づき、設計担当から報告を行った。

- 前回ワークショップで出された多くの意見を「自然環境・森林資源を活かす」「学年の垣根を越えた交流」「地域に開かれた学校」「安心・安全」の4つの計画方針に分類した。
- 温水プールやスケートリンク、歩道橋、屋根付きエスカレーターの設置は、過大な整備費・維持管理費がかかることから検討は見送る。また、限られた予算に鑑み、私立大学強豪校の体育施設のような雨天練習場や全天候型サブグラウンド、合宿所等も検討を見送る。そのほか、敷地内の地下道設置や、義務教育学校施設という観点から売店の設置も検討を見送る。

2 グループワーク

(1) **資料1(5～6頁)**に基づき、設計担当者から、基本的な整備方針案と「昇降口」「普通教室」「ランチルーム」「運動施設」の配置が異なる3つの新校舎の配置案の説明を行った。

○基本的な整備方針案

- ・西側、南側に眺望が開けている現サブグラウンドに新校舎を建築し、新たにサブグラウンドを整備する。
- ・元周山小学校敷地は、既存の校舎・体育館を除却のうえ法面を整備し有効活用する。
- ・児童生徒のアクセスは交差点付近の南側から、車のアクセスは現状のまま東側と西側とする。
- ・既存の周山中学校体育館はリニューアルして活用する。

○新校舎の配置案

- (A案) アプローチ(昇降口) 中央・普通教室西向き
プールは新設するサブグラウンドに設置, テニスコートは元周山小敷地に設置
- (B案) アプローチ(昇降口) 中央・普通教室南向き
プールは元周山小敷地に設置, テニスコートはメイングラウンドに設置
- (C案) アプローチ(昇降口) 西側・普通教室東向き
プールは元周山小敷地に設置, テニスコートはメイングラウンドに設置

(2) 4グループに分かれて当該施設配置3案について協議。その後、各グループからPTA会

長が代表して意見の発表が行われた。各グループの意見のまとめは、別紙（第2回ワークショップ意見）のとおり。

いただいた意見を教育委員会で整理・検討し、次回の施設整備検討部会では具体的な諸室配置や外観デザイン案をお示しする。

<各グループからの発表概要>

A 班	プール配置場所は、教員の目の届く位置に／旧校舎（周山中北校舎）は不要。そこにプールを設置／普通教室は南向きが良い。西向きは避ける／ランチルームは、眺望が良くなる場所に／メインランド内へのテニスコート配置はやめてほしい
B 班	B案が良い。校舎は南向きが良い／メインランドへのテニスコート不要。旧校舎（周山中北校舎）を除却してプール、テニスコート設置を／防犯上、安全状の観点から外からの侵入防止を。セキュリティ守れるように／小中学生が同時に体育館を使用する時にも役立つので、旧体育館も含め複数の体育館設置検討を／日本一の小中一貫校。子どもも新しいモノがうれしいのでその視点を踏まえてほしい。
C 班	校舎配置はB案が良い／旧校舎（周山中北校舎）は不要。そこにプールを／旧体育館の撤去も含め検討し、新校舎東側敷地の有効活用を／小学生が、休み時間に、短い時間でも遊べるスペースの確保を／エネルギー棟はもっと不便な場所で良いのでは
D 班	校舎に使用する木材は「京北産」のものを／普通教室は南向きが良い／旧校舎（周山中北校舎）撤去してプールを。メインランド内にテニスコート不要。テニスコートはA案の位置（元周山小）で／低学年にとっての遊び場を昇降口の近くに確保を。低学年に優しい学校を

3 次回の開催日程について

第3回は11月に開催し、「諸室配置と外観デザイン」について検討する。